

令和7年度「学校運営」について 八戸市立鮫中学校

「校 訓」 **清潔・誠実・正常**

「教育目標」 **ともに生きる・ともに学ぶ**

「努力目標」 **生活づくり** 時間を守り、けじめのある生活
仲間づくり 話し合い、ともに活動
頭づくり よく聞き、考え、学び合う

(1) 令和7年度「学校経営方針」

安心して集い、高め合える、愛着をもてる『私たちの学校』

生きていくことは、人と関わっていくこと。本校の教育目標は「ともに生きる・ともに学ぶ」です。この「ともに」という意味を大切にし、常に寄り添い励ましあうことで、前向きな態度と行動力を伸ばします。一人では不可能でも、仲間となら可能になるということを経験させ、集団の中で個が認められ、互いに力を伸ばすことに重点を置く教育活動を展開してまいります。また、中学生は心身の成長と変化が著しいです。失敗や挫折があってもマイナスではなく、プラス（夢や目標）に近づくための足固めであるという意識をもたせ、自らの人生、ふるさとの将来を築いていく人材の育成を図ります。それには、教員だけでなく保護者、地域の皆様など多くの大人の力の結集が大切です。

(2) 令和7年度「学校目標」

創造的な態度で課題に向き合い、より良く生きようとする生徒の育成

～自律と自啓、想像と創造、感謝と互惠～

コロナ禍を経てスマホやゲームの利用時間が増え、家庭学習の時間が不足し、生活リズムの乱れる生徒も増えました。さらには、社会全体が集団から個へと行動の様式が変容し、生徒間のつながりや信頼関係も薄く脆くなりました。本校の生徒たちは人なつこいけれども、発表や発言が苦手であったり、教員の指示を待って考えたり行動する生徒が多いです。他人事ではなく自分事、自分が一歩踏み出すことで勉強も生活もより一層、楽しさややりがいにつながるものですから「おもしろい、やってみよう」、「やってみたらおもしろかった」の両輪を回すことが大切です。また今年度は、「わかっちゃいるけどやめられない自分」を乗り越えて、明日の自分に希望をもって自律して変わっていこうとする、人生を創っていこうとする生徒の育成を推進していきます。